

断崖

断崖下の波打ち際
続く日本海見下ろす
訪れる人もすくない
穏やかで晴れた日なのに

誰もいなかった市振駅から
昔の面影残した町を過ぎて
幼子抱いた伝説の人が
歩いたはずの海岸線が見える

慕う人に会えるためなら
こんなところも歩いて行ける
失うものがあまりに大きいと
通る前にはわからなかったのだろう

人との闘いの名残も
夢のあとの遊歩道で
歴史物語る自然の
奥深さに足も止める

歩くための道ではなくて
通過するだけの国道と高速
新幹線まで通ることなど
昔の人は想像さえなかったろう

今の時代に生きてたならば
悲しい思いしなくて済んだだろう
後ろ髪を引かれそうな
ほのかに光る波枕を見つめる

断崖下の波打ち際
続く日本海見下ろす
訪れる人もすくない
穏やかで晴れた日なのに

人との闘いの名残も
夢のあとの遊歩道で
歴史物語る自然の
奥深さに足も止める